

国公幼PTA
全国大会開催

40年続く保護者 交流会など報告

第62回全国国公立幼稚園・こども園PTA全国大会香川大会は8月3日、高松市内で開催され、40年にわたって続く保護者交流会に関する発表などがあつた。全国国公立幼稚園

開会式であいさつする全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会の山崎会長



・こども園PTA連絡協議会などが主催した。

このうち、提案発表は、東京都北区立うめのみ幼稚園から須藤あづささん（令和5年度PTA会長）、認定こども園の富山県射水市立大門わかば幼稚園から

「うめのみ劇場」を紹介した。この活動は年1回、保護者同士の交流を図り、親子の共通の話題を広げるため、昭和59年に始まった。保護者全員の歌から始まった「うめのみ劇場」は、保護者による劇やダンスも披露するなど、40年続いている。須藤さんは、「活動の意図を行う意味を説明し、保護者がそれに納得し行動に移せることが大事である」とその意義について訴えた。これに先立つ開会式で、全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会の山崎篤史会長

に続き、来賓として、文科省の茂里毅・総合教育政策局長は、「全ての子どもたちが、格差のない質の高い教育を受けられることが大切」と祝辞を贈った。全国国公立幼稚園・こども園長会の高橋慶子会長は、「国公立幼稚園は地域の宝。国が教育の責任を果たす上でも重要な存在」であると話した。令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰では、香川県のまんのう町立四条こども園PTAなど10園のPTAが表彰された。

大会主題は、「子どもの未来 語るけん！考えるけん！うどん県！」だった。